



三重県公立小中学校教頭会

〒514-0003 津市桜橋 2 丁目142

教育文化会館別館 3 階

TEL 059(228)2340

FAX 059(228)2271

E-mail : mieheadt@hyper.ocn.ne.jp



会長就任にあたって

三重県公立小中学校教頭会会長
辻 幸子

去る 5 月 9 日「第49回三重県公立小中学校教頭会総会」におきまして、私を含め 8 名の新役員が選任されました。これまで先輩の方々が築き上げてこられた本教頭会をさらに発展させるため、微力ではございますが、役員一同粉骨砕身の精神で努力していきたいと思っております。549名の会員の皆様方の深いご理解と温かいご支援を承りますよう、よろしくお願い申し上げます。

全国公立学校教頭会は、東日本大震災発生直後から、被災された学校の復旧・復興及び教育活動の正常化を長期的・継続的に支援するため、様々な支援活動を継続的に進めてきました。震災から 4 年目の今も尚約26万人余りの方々が避難生活を余儀なくされていることを直視し、被災地の小中学校の教育活動が一日も早く正常化されますよう、本教頭会も義援金等の支援活動を行っていきますので、趣旨・目的にご賛同いただきますようお願いいたします。

さて、本教頭会は、半世紀近くの歴史を刻み、「政策提言能力を備えた職能研修団体」として、教頭としての資質を高めるための研修を推進し、地位向上を図るとともに、教育の向上発展に寄与することを目標としています。総会におきまして

も私たち会員は、第十期全国統一研究主題「豊かな人間性と創造性を育む学校教育」のもと 4 つの活動目標を定め、その達成に向けて会員相互の信頼と連帯を深めつつ、研究と実践を積んでいくことを決議しました。今年度は、新学習指導要領完全実施より 3 年目となり、教育の基本理念である「生きる力」の育成に向けて実施してきた学校教育を再度見直す必要があります。また教頭として広い視野に立って学校運営が行えるよう、学校教育に対する識見を深めるとともに、保護者や地域の皆様の期待に応える魅力ある豊かな学校にすることが重要です。そのため、「学力の向上」や「いじめ問題」等今まで論議されてきた教育課題に加え、本年度試行の「土曜授業」や「学校の再編成」（平成26年度は小学校で11校、中学校で5校の学校数減）等についても研修を深めていくべき必須課題であると考えています。

私たちは教頭として、常に管理職としての誇りと希望を胸に職務に精励し、教頭会の充実発展のため、ともに手を携え頑張っていきたいと思います。会員の皆様方の力強いご支援・ご協力を重ねてお願いし、会長就任にあたっての挨拶とさせていただきます。

平成26年度 県教頭会本部役員名

役 職	名 前	学 校 名	名 前	学 校 名
会 長	辻 幸 子	一身田中学校国児分校		
副 会 長	鈴 村 圭 子	上野小学校	東 谷 利 和	田丸小学校
〃	栗 谷 徹	三瀬谷小学校		
書 記	福 島 雅 一	蔵持小学校	大 橋 賢 二	常磐西小学校
会 計	森 憲 治	藤原中学校	北 村 協 右	三浦小学校

事 務 局

黒 田 敦 子

Eメール mieheadt@hyper.ocn.ne.jp

平成26年度 郡市会長・理事名

郡 市 名	会 長		理 事	
	名 前	学 校 名	名 前	学 校 名
桑名市・桑名郡	平 野 浩 数	大山田東小学校	武 藤 耕 嗣	星見ヶ丘小学校
いなべ市・員弁郡	藤 本 昭 彦	城山小学校	藤 本 昭 彦	城山小学校
四日市市(小)	前 田 典 昭	三重西小学校	山 田 喜 久	小山田小学校
四日市市(中)	西 口 泰 司	笹川中学校	川 村 隆 夫	内部中学校
三 重 郡	小 森 正 春	鶴川原小学校	道 浦 博 文	菰野中学校
鈴 鹿 市	弓 削 弘 嗣	石薬師小学校	丹 羽 宏 之	椿 小学校
亀 山 市	伊 達 弘	亀山中学校	花 岡 繁 治	関 小学校
津 市 北	曾 根 博 之	芸濃小学校	奥 村 泰 久	村主小学校
津 市 中	野 畑 元 一	豊が丘小学校	細 井 美 彦	高茶屋小学校
津 市 南	小 林 啓	川口小学校	波多野 慎 介	香良洲小学校
松 阪 市	小 坂 隆	漕代小学校	鶴 飼 栄	豊地小学校
多 気 郡	大 西 稔 子	佐奈小学校	荒 木 俊 幸	修正小学校
伊 勢 市	中 北 好 美	二見小学校	東 浦 道 範	宮川中学校
度 会 郡	中 川 直 和	錦 小学校	中 村 真 也	大紀中学校
鳥 羽 市	田 中 次 尚	長岡中学校	倉 田 正 義	加茂小学校
志 摩 市	岩 谷 昌 弘	磯部小学校	前 田 信 義	甲賀小学校
伊 賀 市	米 沢 巧	柘植中学校	東 芳 則	霊峰中学校
名 張 市	高 木 良 一	つつじが丘小学校	山 田 満	名張小学校
紀 北	中 野 拓 也	三船中学校	畑 中 丈 生	輪内中学校
紀 南	笹之内 茂	井田小学校	阪 口 典 久	神上中学校

平成26年度 新 任 教 頭 名

7月1日現在

地域	名 前			学 校 名			名 前			学 校 名		
北勢	林 義 徳	大 成 小	喜 多 宣 充	成 徳 中	若 子 偉之昌	正 和 中						
	辻 村 鉄 也	笠 間 小	中 村 州 宏	丹 生 川 小	清 水 弘 之	中 里 小						
	三 和 幸 弘	笹 尾 東 小	出 口 孝 貴	山 郷 小								
	豊 田 一 浩	橋 北 小	高 井 洋	富 田 小	相 馬 哲	富 田 小						
	和 田 志 登 士	常 磐 小	松 岡 佳 代	河 原 田 小	川 村 義 修	川 島 小						
	葛 西 和 巳	中 央 小	小 林 ゆかり	中 部 西 小	世 古 豊	塩 浜 小						
	小 林 美 和	下 野 小										
	藤 谷 直 行	南 中	田 中 伸 洋	三 重 平 中	松 井 茂 雄	桜 中						
	北 村 浩 久	常 磐 中										
	齋 藤 孝 太 郎	朝 日 中										
勢	白 杵 伸 子	白 子 小	井 上 久	飯 野 小	小 林 信 吾	箕 田 小						
	北 川 薫	鼓ヶ浦小	清 水 英 輝	牧 田 小	北 川 英 典	深 伊 沢 小						
	米 川 一 也	鼓ヶ浦中	伊 藤 聡 哉	白 鳥 中								
	西 口 昌 毅	加 太 小	岩 間 浩	野 登 小								
津	青 岡 孝 充	千 里ヶ丘小	増 地 陽 一	芸 濃 中	川 本 孝 司	白 塚 小						
	北 岡 明 直	東 橋 内 中	今 田 禎 浩	橋 北 中	鷓 飼 節 夫	南 郊 中						
	米 奥 由 香	立 成 小	濱 口 フキ子	榊 原 小	片 岡 長 作	誠 之 小						
松阪	齋 藤 実 男	第 四 小	森 健	中 川 小	平 賀 悦 子	徳 和 小						
	宮 寄 文 晃	豊 田 小	加 藤 浩	天 白 小	尾 崎 佳 広	香 肌 小						
南勢・志摩	菅 林 貴 法	進 修 小	樋 口 佳 洋	上 野 小	藤 原 成 枝	今 一 色 小						
	小 掛 敏 幸	倉 田 山 中	松 村 絵 里	小 俣 中	濱 口 憲 子	豊 浜 中						
伊賀	宮 寄 永 合	久 米 小	宮 本 まゆみ	依 那 古 小	西 口 修 身	上 野 西 小						
	澤 田 久 忠	緑ヶ丘中	川 端 紀 生	城 東 中								
紀北	西 村 弘 哉	海 野 小	小 川 智久美	引 本 小	西 田 朋	矢 口 小						
紀南	高 田 有 治	金 山 小	澤 正 人	入 鹿 小	矢 賀 秀 作	飛 鳥 中						
南	山 本 裕 代	阿 田 和 小	南 高 根	相 野 谷 小	西 尾 潤 一	御 浜 中						



79名の方が本年度新しく教頭として
着任されました。フレッシュな声をお
届けします。



校歌に想う

桑名市立大成小学校

林 義 徳

学校には、それぞれの伝統や校風、地域の願
いなどが込められた「校歌」があります。

演歌が好きな私には、子どもたちが歌う校歌
は、何とも心に染みます。始業式・入学式の日
は、子どもたちとの出会いに加え、子どもたち
の純粋な歌声に心躍らされました。

丘の上にある学校から見下ろす伊勢湾の朝ぼ
らけや雄大な木曽三川の美しさに始まり、「こ
こに我等が大成の・・・」と曲は、盛り上がり
ます。歌詞と学校の立地・校区の様子を比して
聴くと、歌に込められた先人の願いが伝わっ
てきます。

私も早く校歌を覚え、子どもたちと保護者、
地域の皆さんと共に「大成」する学校・人づく
りに貢献できるよう努めて参りたいと思います。



「子どもに向き 合う学校づくり」

東員町立笹尾東小学校

三 和 幸 弘

「新米教頭です。」といえる時期も過ぎ、そ
れでも、校長先生をはじめ大勢の人に支えてい
ただきながら「でんでん虫」のように歩み続け
ています。

昇任の折り、恩師から『子どもに向き合う学
校づくり、期待しています。』という言葉をし
ていただきました。しかし、パソコンの画面に向
き合っただけ。「希望した職、愚痴は言うまい！」
と心に誓っていたのですが、心の中で愚痴って
いる自分を情けなく思うことがあります。書類
に目を通して調査・報告書など作っている
うちに、ふと、大先輩の言葉を思い出しました。
「学校は、法律に基づいて動いている。」という
言葉です。そう考えると、パソコンの画面に向
き合っている自分の姿にも、少し納得できるよ
うになりました。

自分の仕事が、子ども・職員・保護者・地域
にどのようにつながっているか考え、「でんで
ん虫」の歩みを続けていきたいと思っています。



「京都の先生」

四日市市立塩浜小学校

世 古 豊

「教頭先生、地域の方から電話です・・・お客さまです・・・」

教頭となったその日から、次々とする業務や対応。教頭の職務は、広範多岐にわたっていることを実感する毎日である。

しかも、多くのことが未経験。学校長に報告、連絡、相談するのは当然だが、細かなことを全てとはいかない。

そんな時、「わからないことは、遠慮しないで聞いてください。」「頑張りすぎないようにね。」など、励ましや温かい言葉をかけてくださる教頭会の先輩方、仲間に、感謝の気持ちで一杯になる。

「しつれいします。京都の先生いますか。」

「はい、もしかして、きょうとう先生のことかな？」

かわいい一年生の呼びかけに心が癒される。忙しい中でも、子どもたちとふれあう時間が一番楽しい。私もいただいた恩を忘れずに、優しい先輩になろうと心に誓う。



「心新たに」

四日市市立常磐中学校

北 村 浩 久

正門から見る校舎、職員室から眺めるグラウンドや吉田山の光景、懐かしさとともに以前と何ら変わりのない学校の姿に安堵感を覚えた4月。

私が赴任した常磐中学校は、5年前まで教諭として9年間務めた学校です。本校を離れてからあまり年数が経過していないこともあり、たくさんの在校生の保護者の方から「帰ってきてくれたんですね」と温かい言葉をいただき、本当に嬉しく、しっかり頑張らなければいけないと気持ちが引き締まります。

教頭の仕事は思っていた以上にハードで、赴任前に思い描いていた創造的な仕事は現在何一つできていませんが、期待を裏切らないよう、子どもや先生たちがエネルギーで笑顔溢れる学校づくりに力を注ぎたいと考えています。



「再スタート」

朝日町立朝日中学校

斎 藤 孝 太 郎

満開の桜がいつしか散り、校庭では新緑の木々を背景に赤と白のつつじが咲き誇っています。ある程度の「大変」は覚悟していたものの、4月はそんな景色を楽しむどころか見ることもできませんでした。校長先生をサポートし職員

集団を取りまとめたり、先生方の悩みを聞いて的確にアドバイスしたり、と意気込んでスタートしましたが、日々の業務に追われ何もできませんでした。5月に入り、ようやく目の前で子どもたちのために頑張っている先生方のために、何か出来ることはないのだろうかと考えることができるようになりました。コミュニケーションが気軽にできる雰囲気づくりを心がけながら、「再スタート」を切ろうと思っています。



「つないで いこう！」

鈴鹿市立深伊沢小学校

北 川 英 典

清々しい朝の空気に包まれ、学校の裏門に黄色い旗を持って立つことが日課になりました。ずっと遠くまで見渡せる畑の中を、通学団がいろんな方向から学校に向かってきます。交差点では、黄色いジャンパーを着た地域の方が、早朝から子どもたちの安全を見守ってくださっています。

読み聞かせや学習支援、環境整備でも保護者や地域の皆さんが協力を申し出てくださり、子どもたちの学習を側面から支えていただいています。

今日も電話が鳴ります。赴任したばかりの頃は、「自分に応えられるだろうか。」と不安な気持ちで受話器をとったものでしたが、1ヶ月が過ぎた今、「何とかつないでいこう。」と気持ちを切り替え、充実した日々を過ごしています。



「新しい 環境の中で!!」

亀山市立野登小学校

岩 間 浩 哉

念願の小学校への赴任することが決まり、20年以上前の初任の頃を懐かしく思い出しながら、小学校へ行ったらこんなことをしたいと考えていたことがいくつもありました。しかし、いざ教頭として着任すると、これまでと余りにも勝手が違い、毎日わからないことばかりで、職場の皆さんに助けられながらも、目の前の与えられたことをこなすことで精一杯でした。

そんな毎日でしたが、5月の半ばになり、学校にも慣れようやく落ち着いてきました。これからは、子どもたちとの関わりを大切にして、子どもたちのため、教頭として学校運営に環境整備にと、今の自分に何ができるかを考え、皆で協力し精一杯取り組んでいきたいと思っています。



「日々感謝」

津市立千里ヶ丘小学校

青 孝 充

「ありがとうございます。」「助かります。」「感謝します。」「〇〇先生のおかげで・・・」教頭として赴任して以来、この言葉を発しない日はありません。

赴任当初、次々と来る書類の理解に時間を要

するだけでなく、その優先順位がつけられず困惑の毎日でした。改めて、学校運営は、多様な面から成り立っていることが教頭という職に就いて分かった次第です。

日々困惑し、混乱している自分を察してか、校長先生には、仕事を進める上でのポイントを毎日のように指示していただいています。他の先生方には、「何か手伝うことがあったら言ってくださいね。」「教頭先生は、教頭としての仕事に専念してください。冊子をとじたりするのは、私たちがしますから・・・。」と声をかけてくれます。本当に「日々感謝」です。先生方のこのような言葉は、当然、目の前の子どもにも発せられていると思います。すばらしい学校で教頭としての仕事をスタートできたことを幸せに感じ、今後がんばっていききたいと思います。



「新任教頭として」

津市立白塚小学校

川 本 孝 司

新任教頭として小学校へ赴任することとなり、ドキドキワクワクしながら、4月を迎えました。一方、学校で勤務するのは14年ぶりであり、しかも小学校での勤務経験は無く、少し不安もありました。

4月が始まり、熱心かつ前向きに教育に取り組む教職員の姿と、児童のために時間を惜しまず学校を支援してくださる保護者や地域の方の姿に、不安は吹き飛びました。

そのかわり、教頭としての職責の重さをあらためて感じるとともに、校長を補佐し、自分が前向きに行動すること、みんなで取り組むこと、児童を大切にすること、改善することなどあらためて、自分の心に刻みました。

子どもたちの未来のために、精一杯努めていきたいと思います。



見方を豊かに…

津市立誠之小学校

片 岡 長 作

6年ぶりの学校現場です。子どもたちとのふれあいに懐かしさを感じるとともに、6年のブランクから感じる子どもたちや学校の変化に戸惑いもあります。それは教頭という立場から学校を見ていることも関係しているのでしょう。振り返ると以前は自分の学級、自分の学年、そして校内という優先順位で考えていたと思います。いまは一つの事象であっても、子どもの立場、職員の立場、校長先生の立場、保護者や地域住民の立場などいろいろな角度から学校を見るように心がけています。しかしながら、目の前の仕事に追われてしまい、職場の皆さんや地域の皆さんに多様な見方を教えていただいているのが現状です。自分の見方を豊かにしていくにはまだまだ時間が必要となりませんが、学校の未来を描きながら一步步課題解決に向けて進んでいきたいと思います。



「居心地のよい 学校・職場に」

松阪市立豊田小学校

宮 嵯 文 男

「教頭先生は大変だなあ。」と覚悟して迎えた4月1日。同じ市内でも、31年間の教諭生活で全く知らない地域の学校という不安もありましたが、どんなことでも丁寧に教えてくださる校長先生と前教頭先生、以前の学校で同僚だった事務職員が同級生という環境に恵まれ、すぐに馴染むことができました。「教頭先生！」と声をかけてくれる明るく素直な子どもたち、毎日熱心に教育に取り組む職場の仲間たち、保護者や地域の皆さん、全ての人にとって今以上に居心地のよい学校にできるように、自分にできることを精一杯頑張っていきたいと思います。この職務にやりがいと誇りを持って、自分らしく生き生きと元気に、職場づくりに努力します。



「青田の季節に」

伊勢市立豊浜中学校

濱 口 憲 子

七年ぶりに大好きな豊浜に戻らせていただいた。今、職員室に鍵を取りにくる子どもたちとほんの少し言葉を交わす時間が楽しく愛しい。思わず顔がほころんでしまう。

放課後の職員室での職員との会話も充実していて毎日印象深い。「失敗を怖がるようになってしまった。」と自戒する中堅教員。「起案文書をしっかりと見ていただけて嬉しい。」と堅実な若手教員。「仕事は楽しんでやらなきゃ。」とエネルギーなベテラン教員。二十人の小さな職場だが、目に見える分掌と目に見えない分掌（個々の能力や優しさ）との絶妙なバランスで成り立っていて心地よい。

豊浜ののびやかな子どもたちのために、小さな職員室のすてきな仲間とともに力を出し合いたい、その助けになりたいと心から思う青田の季節だ。



答志島ツーリング

鳥羽市立答志中学校

小 西 正 修

鳥羽佐田浜港から定期船に乗り、答志島和具港まで15分。そこから1kmの道のりをバイクに跨がって2分で学校に到着する（8:00到着）。生徒も先生方も皆がこの時間に学校になだれ込み、一日の喧噪が一気に始まる。定期船の中で「今日はあれをして、これをして」と一応の予定は立てるが、職朝後には外からの電話やメール、栈橋からの呼び出し等でもろくも崩れ去る。あっという間に時間が過ぎ去っていく日々の中で、見つけた楽しみが一つだけある。前教頭から譲り受けたスズキバーディ50ccで島を走ること。時には反対側の桃取港まで15分のツーリング。新緑と磯の香りがミックスされた風を感じながらゆったり流す。趣味で持ってるバイクは4月から乗る時間もなく、車庫に座ったままな

のに、こんな楽しみが見つけれられるとは・・・。
生徒の前に出る機会が極端に減り、精神的にも
きつい毎日だが、意欲的に働ける職場づくりを
目指して今後も頑張っていきたい。・・・最終船
の時間だ。戸締まりに行かないと。



「教頭って・・・」

志摩市立安乗中学校

東 川 泰 仁

「なぜ教頭先生になりたいんですか?」、「管理職の魅力は何ですか?」など、これらの質問が一番困りました。答えがまったく見つかりません。「自分がめざす教頭像」というのは、漠然としながらも持っていますが、それをうまく表現することもできません。新しい職で、1ヵ月がたちますが、さっぱりわからない事務仕事に追われるうちに、「数学」がしたいと思うこともあります。今はただただ、職場の皆さんの温かさに支えられて、本来しなければいけない仕事もカバーしてもらいながら、難しい質問の答え探しをする毎日です。



「学校っていいな」

名張市立南中学校

山 田 貴 志

4月に新任教頭として南中学校に赴任しました。若い頃10年間勤務した中学校、入学式で聞いた久しぶりの校歌を一緒に歌えた自分が少しうれしく思えました。

着任から1ヶ月が過ぎ「教頭先生」と呼ばれることにはようやく慣れてきたところですが、仕事はまだまだで、慣れない仕事に戸惑いながら何とか4月を終えることができたのは、校長先生の励ましの言葉や、事務の方をはじめ職場の先生方の協力があったのことに、感謝の気持ちでいっぱいです。「学校っていいな」。3年間学校現場を離れていたせいか、そんな思いで仕事に向かう毎日です。これからも信頼される教頭をめざして、努力をしていきたいと思えます。



「朝の風景」

伊賀市立依那古小学校

宮 本 まゆみ

朝職員室へ入ると、まずパソコンロッカーとファイル戸棚のかぎを開ける。昨日帰りに書いた黒板を見て、今日の予定を確認。パソコンを開いてメールのチェック。そのうち電話が鳴り始め、欠席連絡や担任への伝言メモをとる。8

時前になると子どもたちの声が廊下に響き始め「きょうとうせんせい、おはようございます…。」こんな朝の始まりにも、少し慣れてきた。目が回るような4月だったが、子どもたちの笑顔に元気をもらい、職員室から見える校庭の桜と伊賀鉄道の風景に心癒されながら何とか乗り切ってきた。

これからも教職員のみなさんや地域の方々とともに、明るい職場・楽しい学校づくりに努めていきたいと、決意を新たにしています。



「新米教頭」

紀北町立矢口小学校

西 田 朋

なにぶんにも新米の教頭でじゅうぶんに職責をはたせるかは、はなはだ疑問ですが、私なりに一生懸命やるつもりです。

教頭という仕事は、何だろうかと、いろいろ考えてみました。そして職員からよい教頭と言われた今までの先輩を思い浮かべてみると、職員のみんながやる気を起こすような環境を作ることが教頭の一つの大きな仕事だと思います。こうした先輩の名教頭と、今の私があまりにも経験が浅く、人間的な魅力にも大変乏しいことに思ったり、自信を喪失しております。しかし、私は私なりに、みなさんといっしょになって苦しみ、失敗し、勉強しながら、少しでも前向きの姿勢で、仕事をやっていきたいと思えます。



「しあわせ」を感じながら

熊野市立金山小学校

高 田 有 治

「おはよう～ございます♪」子どもたちの明るく元気いっばいの声につつまれて、私の一日が始まる。4年ぶりに学校現場に戻った私にとって、子どもたちの素敵な笑顔は、私の「やる気スイッチ」を一瞬にしてONにかえ、そして、私の表情までも明るく輝かせてくれる。

「やっぱり、学校はええなぁ～！」しあわせを感じる瞬間だ！私は、子どもたちからもらった元気と笑顔を、今度は、職員室で先生方に振りまいている。子どもたちのように純真で素敵な笑顔ではないが、職員室がほんの少しでも明るくなればいいなぁと思っている。多忙な先生方の「ほっとステーション」を目指して！！

訃報連絡

謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。

5月31日 ご逝去

鈴鹿市立旭が丘小学校教頭

徳 井 道 紹 様

昇 任

鈴鹿市立旭が丘小学校教頭

服 部 直 美 様

「スキッシュワタナベ」

東員町立笹尾西小学校 渡 辺 広 晴

私の両親はスキー愛好者でしたが、子どもが生まれた後は、生活のために家族でスキーをする余裕はなかったそうです。ですから、我が家には野沢温泉スキー場にあるスキー博物館に展示されているような板や総皮革製のスキー靴に竹製のストックがあったので、雪国いなべの我が家の庭先や空き地で、板にのって遊んでいたものの、滑ってはいませんでした。



高校大学と、陸上競技の中長距離を夢中になって練習しました。大学は関東でしたので、ご多分に漏れず目指すのは「箱根駅伝」本戦出場。800mが専門の私でも、毎日何十kmと走る日が4年間続きました。毎年予選会には出場するものの夢はかなえられませんでした。そんな中、卒業を前に陸上競技部4年生揃ってスキーに行こうと、山形出身の同僚が誘ってくれました。初めての滑るスキーとの出会いです。その時の不思議な感覚。何もしないのに前に進んでいくのですから、特に中長距離のメンバーは歓喜しました。雨にも風にも暑さにも寒さにも負けず、苦しい中我慢の連続で、自分の足を動かさない限りは前に進まない状況の中で練習してきた私たちです。足を動かさなくてもどんどん前に進み加速していく動きが、とてつもなく楽しく笑いが止まりません。出た言葉が「これってスポーツか？」でした。運動している筈なのに何も苦しくない楽しい初体験でした。旅行か

ら帰った私は夢中になり、もう一度行きたくて資金作りのためパチンコ屋に走り、無事に資金を得ることができて再びゲレンデへ。こうして私のスキードブプリ人生は始まりました。

あれから33年、昨年までは年間滑走日数約30日。なじみの宿泊先やスキースクールもあちこちにでき、冬が待ち遠しくて仕方ありません。スキーもレクからアルペン競技へ。マテリアルのメンテナンスも当然のこと。車庫にはチューンナップルームも完備し一人こもっての作業。気づけば日付が変わっていることもしばしば。スキー仲間にも頼まれて、スキーラックにずらりと並ぶ板の数々。誰かが呼んだ「スキッシュワタナベ」の姿です。

教頭になったとき、一番の心配は「どれだけ滑りにいける？」でした。覚悟していましたが、やはり激減してしまいました。それでも何とか練習し、昨シーズン県大会3連覇を達成（年齢別ではありますが）することができました。仕事のストレスも溜まりますが、素晴らしい景色の中で思いっきり滑っているとこの上ない幸せです。これが続けられる限りは仕事も頑張れそうです。異種の職業の仲間との交流も楽しみで、オフシーズンも一緒に飲む他府県の仲間もいます。時間もお金もかかる趣味ですが、私には、大好きなスキーがあるから人生を楽しんで進んでいけるのです。



郡市だより ～シリーズ・防災～ Vol. 7

ごじゅうせ

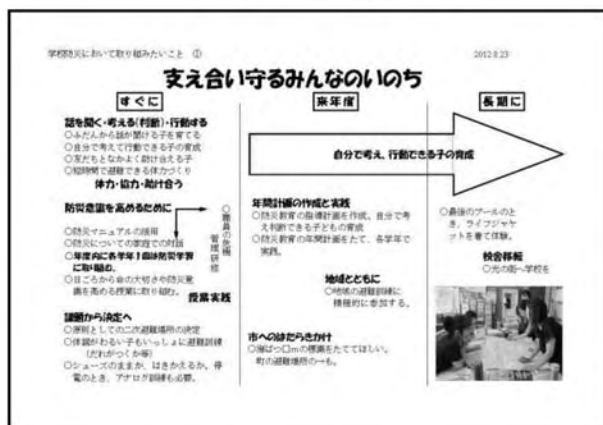
郷中施の郷で取り組む楽しい防災教育

伊勢市立二見小学校 中 北 好 美

伊勢湾の河口に位置する二見には、「郷中施（ごじゅうせ）」と呼ばれる二見興玉神社境内で行われる行事がある。寛政4年（1792）の大津波（実は風水害という説もある）で二見郷江村はほとんど壊滅したが、難を逃れて残った数戸を中心に村人が助け合い施しあって立ち直ったという故事にちなんでいると言われ、祭典には、きゅうり・みる・まつなが供えられる。これには「（津波は）急に（来る）（津波を）見るな、待つな」の防災的な教訓としての意味があると伝えられている。

こうした地域の教材をほり起こし、継続的発展的に取り組む本校の防災教育は、一昨年度の危機管理研修において、本校防災教育の「強み・弱み」を明らかにし、短期・中期・長期の目標を設定することから始まった。主な取り組みを紹介する。

（↓低学年部研修のまとめ）



- ① 屋上や約1.5km離れた校外への避難訓練、休み時間予告なし、先生も抜き打ちの避難訓練など少しずつ想定を変えた実践的な訓練活動。
- ② 警察や学校安全ボランティアとの連携、保育園との合同避難訓練の実施。
- ③ 様々な通学手段（徒歩・JR・バス）に対応した通学路や地域の防災マップづくりと、災害発生メカニズムや防災についての知識理解を深め、自助共助意識を高める防災学習の充実。
- ④ 児童用防災マニュアル「たいせつないのち」の作成と「二見小BOSAI通信」の定期的な発行。

二見小BOSAI通信

二見小学校 防災通信 No.4 2014年3月5日

考えて行動するが 自助の基本☆

二見小では4つのめざす学校像を設定し、教育目標「心豊かで実践力のある子ども」の実現のために、日々の教育活動を実践しています。めざす学校像に基づいて、いくつかの具体的な行動計画を立てていますが、その一つが、防災を含む適切な危機管理の実行です。

これらの具体的な行動計画については、学校評価としてふり返りを行い、改善すべきところは次年度に重点行動目標を設定して、取り組みを強化します。1月末に結果をお知らせした学校評価に係る保護者アンケートや児童アンケートも、この学校評価に役立っています。

さて、本校の防災を含む危機管理が適切に行われているかについても、評価を行いました。その結果は…

よかった点

① 児童・保護者アンケートでは、「いろいろな場面を想定した避難訓練の実施」や「避難車体験を含む防災学習の取り組み」について、高い評価を得ることができた。

② 学校評価では、全教職員が高い危機管理意識を持っていること、マニュアルの整備・改善が進められていることについて評価が高かった。

★今後の取組

① いざというとき、まだまだ一人ひとりが自分で考えて動けるまでにはなっていない。さらにいろいろな場面を想定した避難訓練を実施し、ふり返りをしっかり行って、どのような状況でも、自分で考えて安全な避難行動をとれるようにしていく。

② 自分たちの地域を知り、安全に避難するために「防災マップづくり」に取り組む。（詳細は未定）

3.11から3年！あの悲しみをくぐり過ぎないために。

時の経過とともに危機感がうすれていないでしょうか。緊急な火災の点検、いざというときの連絡方法の確認など、家庭で話し合い、日頃の備えを十分に！

すぐメール！ 自動更新のお知らせ

「すぐメール」の登録情報は、3月末に、現年5年生については別添紙1～5年生については、自動的に次の学年に移行されます。4月にメール配信をしますので登録の確認をお願いします。

（↑二見小BOSAI通信）